

2019年度 森林環境譲与税 使途

1. 森林環境譲与税額

24,855,000円

2. 譲与税の使途

(1) 森林整備推進事業

森林経営管理法に基づく森林所有者への経営管理意向調査・経営管理権集積計画作成に係る森林所有者への説明会と同意の取得の実施等を民間事業者「やましごと工房」に委託

11,070,000円

(2) 森林環境基金積立事業

今後予想される森林経営管理法に基づく市自らによる森林整備(市町村森林経営管理事業)の増大に備えた積立

13,785,000円

- 美馬市は、林野率80%、私有林人工林面積約13,000haと森林の豊富な地域であるが、間伐面積は143ha(H30)に留まり、今後は森林に無関心な所有者への施業意識の醸成が必要。また、地元には小規模な林業事業者が多く、事業の安定供給、事業地の確保が課題。
- このたび、市町村による森林経営管理の仕組みが法制化されたが、職員に高度な専門性が求められるため、業務のアウトソーシングが必要と考え、これらの課題を解決するべく、美馬市・つぎ町・県の現地機関で新たな団体『やましごと工房』を平成30年10月に設立した。
- 令和元年度においては、768人(1,726.62ha)に対して森林管理の意向調査を実施し、このうち531人(1,303.07ha)から返信があった。このうち70%の方が森林管理を市に任せたいなど、主体性をもっていない所有者であった。
- 次年度は、意向調査の結果を踏まえ、説明会の実施や経営管理権集積計画の作成を進めるとともに、引き続き残りの地域の意向調査を併せて実施する。

□ 事業内容

1 森林所有者への意向調査

- 美馬市を15区間に分け、このうちの1区間(768人、1,726.62ha)に対して、「やましごと工房」が意向調査を実施した。

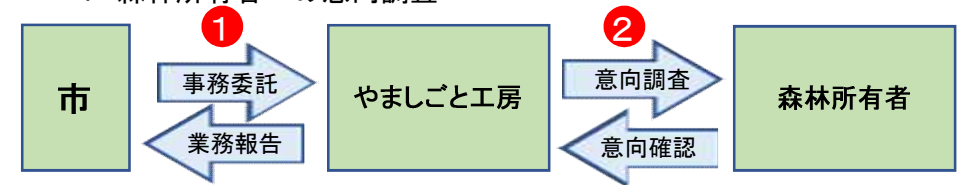
【事業費】11,070千円(うち譲与税11,070千円)

【実績】調査票到達:723人(到達率94%)

- うち調査票返信:531人(返信率73%)
- うち自ら管理を行いたい方:83人(16%)
- 他(人(会社・団体)に任せたい方:75人(14%)
- 森林の管理を市に任せたい方:229人(43%)
- その他(方針が定まっていない):144人(27%)

□ 事業スキーム

1 森林所有者への意向調査



□ 工夫・留意した点

- 意向調査を『やましごと工房』にアウトソーシング。
- 調査票の送付後、電話や簡易書留など3回にわたる督促を実施。
- 回答をいただいた方から抽選で地元特産品を贈呈。

以上の工夫により、高い返信率(73%)を達成。

□ 基礎データ

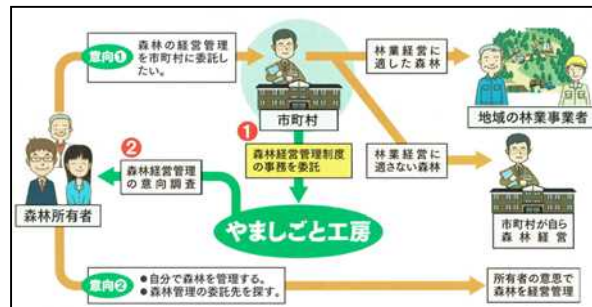
| | |
|---------------|----------|
| ①2019年度譲与額 | 24,855千円 |
| ②私有林人工林面積(※1) | 13,134ha |
| ③林野率(※2) | 80% |
| ④人口(※3) | 30,501人 |
| ⑤林業就業者数(※4) | 87人 |

※1:「森林資源現況調査(林野庁、H29.3.31現在)」より、

※2:「2015農林業センサス」より、※3, 4:「H27年国勢調査」より



(事業1: やましごと工房との打ち合わせ)



(やましごと工房とのスキーム)